あくね 市議会だより

第1回臨時会

市独自のコロナ経済対策

全市民に1万円商品券
プレミアム付食事券
飲食・宿泊事業者に20万円

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

阿久根市議会　検索

見ごろです 笠山あじさい園

脇本笠山の頂上近くにある観光農園
６月いっぱい、あじさいが楽しめます
東シナ海の眺望も・・・

令和２年６月16日発行（No.207）

阿久根市議会

第1回臨時議会

生活・産業支援策として

全市民に1万円商品券　8千円分は中小事業者向け

プレミアム付食事券　6千円分を4千円で販売

国の特別給付金10万円　子育て世帯へ1万円も

中小店専用と全店共通（大型店舗含む）の２種類で発行される全市民への商品券

全市民に１万円の商品券支給、４千円で６千円分のプレミアム付食事券を５千セット販売、飲食・宿泊事業者に20万円を給付する市独自のコロナ対策事業を盛り込んだ令和２年度一般会計補正予算（第２号）を可決しました。なお、市議会議員は商品券の受給を辞退しました。

また国民に一律10万円が支払われる国の特別定額給付金や、子育て世帯への１万円の臨時給付を含む同補正予算（第１号）、年度末に確定する国からの地方交付税等の令和元年度一般会計補正予算（第６号）、それぞれの専決処分を承認しました。

条例

国民健康保険税（医療分・介護分）の限度額を引き上げるとともに、国民健康保険税の低所得者にかかる減額の対象となる所得基準を引き上げる条例等の専決処分を承認しました。

コロナ対策補正・同予算案への質疑

白石議員　飲食・宿泊以外業種に支援がない理由は。

市長　会議所との意見交換で当２業種がもっとも厳しい状況と判断した。

白石　同業者でも会議所・飲食組合員に限る理由は。

市長　個人事業主が多い飲食業者が会議所会員になり経営指導を受け、地域一丸になって欲しかった。

白石　議会議決前の申請書発送は問題ないのか。

商工観光課長　「正式決定ではない」として発送した。

岩﨑議員　飲食店及び宿泊業者のうち、会議所や組合への加入数は。

商工観光課長　５月20日現在、市が把握する数は、飲食店97、宿泊業11、未加入約20である。

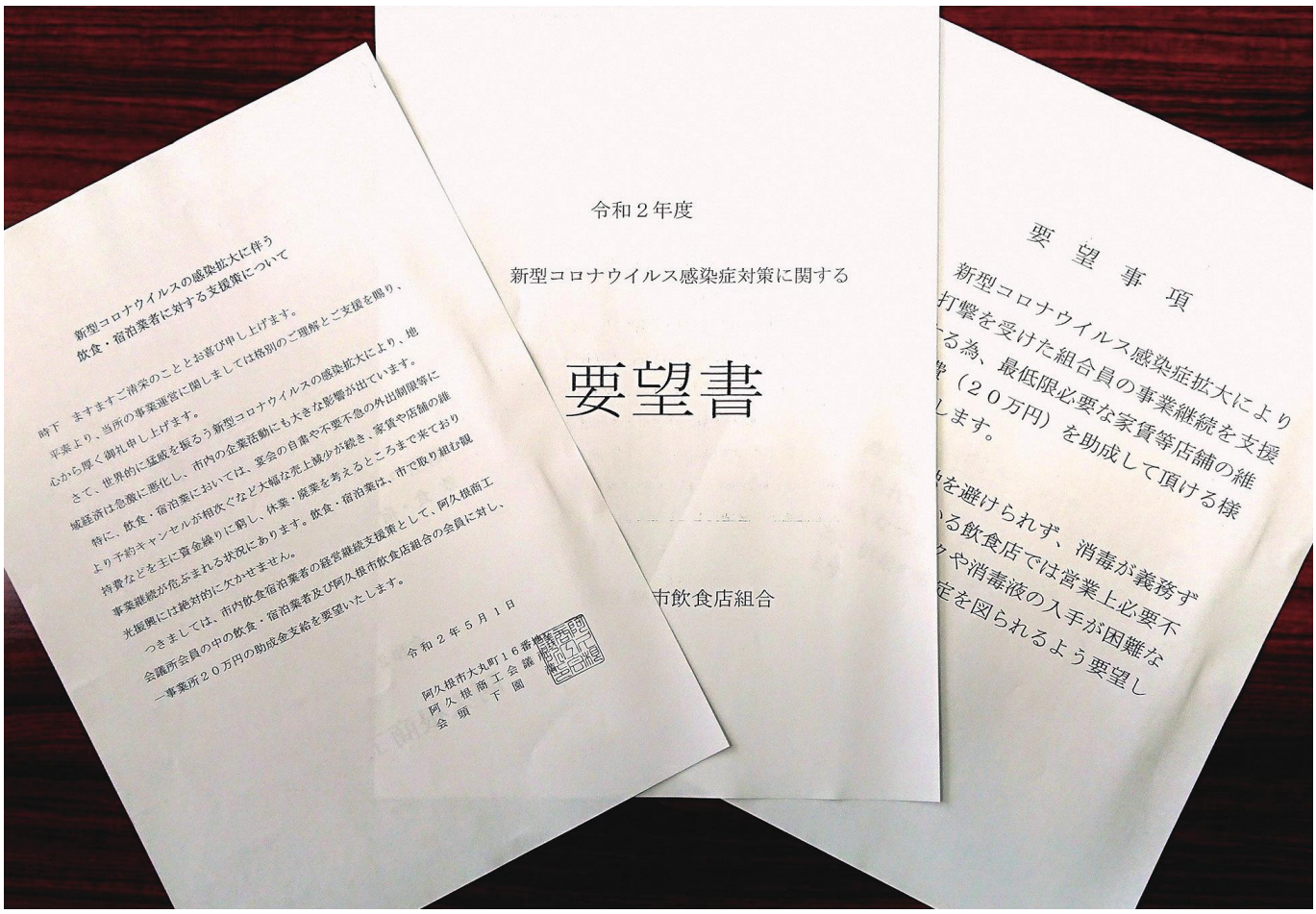
岩﨑　会議所の支援は。

商工観光課長　記帳や確定申告の記入、手続等の指導支援、戸別訪問による経営改善指導や無料セミナーの実施、政府系及び民間系金融機関の融資の案内及び手続等である。

市独自のコロナ対策

飲食・宿泊事業者に20万円給付

～商工会議所会員・飲食店組合員を対象～



商工会議所・飲食店組合からのコロナ対策の要望書

中面議員　原資は税金なのに、商工会議所又は飲食店組合に加入しないと受給対象にしない理由は。

市長　各自治体の支給条件も様々であり、地域の実情を踏まえて判断した。

中面　会員でない店舗等、困っている対象者への周知は、職員が足を運んで行政主導でやるべきだが。

商工観光課長　現在、昼夜を問わず、チラシ配布等の広報活動を検討しているところである。

濵﨑議員　飲食・宿泊事業者への支援を商工会議所会員等としている。行政は市民に対し、等しく公平な業務の執行を行うべきで、他の業者を除いた理由は。

商工観光課長　理想はそうだと理解しているが、ある程度の線引きが必要とのことで両団体とした。

濵﨑　議決前での申請書の受付は議会軽視では。

市長　業者は非常に困っており、一日でも早い支給のためである。

竹之内議員　今後の事業者や市民への支援策第２弾は考えているか。

市長　当面今回の事業を活用していき、状況を見て対応していきたい。

竹之内　他市町村にあるような水道料金の減免は考えているか。

市長　水道事業の状況を考えると難しい。別のところで市民生活の支援を考えていきたい。

竹之内　柔軟な対応をお願いしたい。

山田議員　支給の決定は商工会議所と阿久根市が協議してするのか。

商工観光課長　営業実態等、要件を満たすか会議所と市と協議して決定した。

山田　情報等を参考にはするが、市がお金を出すわけだから、決定するのは市でないとおかしくないか。

市長　商工会議所とお話をし情報提供をいただいているが、おっしゃるとおり、決定は市が行うものと考えている。

令和２年第１回臨時会　議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）竹之内和満	川上　洋一	濱門　明典	白石　純一	濵田　洋一	竹原　信一	濵崎　國治	中面　幸人	牟田　学	岩﨑　健二	木下　孝行	濵之上大成	山田　勝	仮屋園一徳	野畑　直	議決結果
報１	専決処分の承認（市税条例の一部改正）	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	承認
報２	専決処分の承認（市国民健康保険税条例の一部改正）	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	承認
報３	専決処分の承認（元年度一般会計補正予算（第６号））	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	承認
報４	専決処分の承認（元年度市国民健康保険特別会計補正予算（第３号））	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	承認
報５	議会の委任による専決処分の報告	報告のみ															
報６	議会の委任による専決処分の報告	報告のみ															
報７	議会の委任による専決処分の報告	報告のみ															
報８	専決処分の承認（２年度一般会計補正予算（第１号））	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	承認
議37	固定資産評価員の選任	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	同意
議38	２年度一般会計補正予算（第２号）	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決

【表の見方】　報：報告　議：議案　決：決議　陳：陳情　意：意見書　＊：全会一致　◇：賛成　◆：反対　－：表決権なし

○野畑直議員は議長職のため特別多数議決を除く議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

討論

議案第38号
一般会計補正予算（第２号）

反対　行政の支援は公正であるべき

竹原　信一議員

県のコロナ感染者は10人、死者なしと極めて少ないが、メディアに行政が加担したコロナヒステリーが問題を起こしている。厳しい時に一部だけ補助で抜け駆けし突き放す。これでは子供たちも逃げる。もっと将来と全体の事を考えましょう。

賛成　商工業全体の活性化を含めた支援

岩﨑　健二議員

今回の給付は、観光の推進、会議所等組織の活性化を含むものである。組織の充実・活性化により商工産業が底上げされ、全産業への波及効果が期待できる。緊急事態宣言は解除されたが、元に戻るには時間を要する。1日も早い給付を望む。

賛成　手続に問題は無い　観光を守る

木下　孝行議員

この様な緊急時において、救済措置をしっかり行い、迅速に対応できる今回の手続に問題は無いものと考える。阿久根市は将来に向け、観光行政を重要なものとして進めていく方針である。市の観光の灯を消さず、そして守るためにも賛成する。

賛成　全ての事業者を救うための意見を付す

中面　幸人議員

会員加入は勧めるが、困っている全ての事業者を救うため、商品券の取扱対象店舗及び飲食・宿泊業者への支援金給付条件から、商工会議所会員又は飲食店組合員でなければならないという条件を外すことという意見を付して賛成する。

賛成　誰一人取り残さない支援を要望

白石　純一議員

２組織の方々への支援に反対ではないが、「誰一人取り残さない」観点から①飲食・宿泊以外の業種支援、②組織加入の条件は外す、③商品・食事券は両組織以外の業者にも声がけ、④商品券申し込み期限を議決日より延長すること、を要望する。

損害賠償の報告

市道脇の伐採済み竹が倒れ車を損傷したこと、歩道のくぼみで母子が転倒し負傷したこと、市営住宅のひさしが落下し車を損傷したことにより3件計34万円余の損害賠償での和解が報告されました。

前号（5／15付）に誤りがありました。訂正しお詫びします。

・7P　3段本文3行目
水産物付加向上対策
誤　以前の3千円
正　以前の3千万円

・8P　4段目スタンプ
狂犬病予防接種等…
誤　原案可決
正　趣旨採択

・9P　6段目スタンプ
寺島宗則旧家のトイレ…
誤　原案可決
正　採択

・10P　3段本文14行目
有効活用できる空き家は
誤　2849戸の
正　1849戸の

・19P　1段目タイトル・本文7行目
高齢者世帯へ取組を
誤　個別ごみ
正　戸別ごみ

発行　阿久根市議会
作成者　広報広聴委員会
委員長　白石　純一
副委員長　濵崎　國治
委員　竹之内和満
〃　川上　洋一
〃　濱門　明典
〃　岩﨑　健二

発行／阿久根市議会　編集／広報広聴委員会
TEL 0996-72-0815　FAX 0996-72-2029
メール gikai@city.akune.kagoshima.jp
住所 阿久根市鶴見町200番地　〒899-1696